

2014年度上期 決算説明会

代表取締役社長 佐藤 和己

YORZU

株式会社 **ヨロズ**

東京証券取引所市場第1部 (証券コード：7294)

目次

- I. 2014年度上期業績
- II. 2014年度通期見通し
- III. 今後の方向性
- IV. 株主還元について

YORZU

目次

・ 2014年度上期業績

・ 2014年度通期見通し

・ 今後の方向性

・ 株主還元について

YORZU

2014年度 上期連結決算概要

損益の状況(前年同期比)

単位:百万円

	2014年度 上期	売上高 比率	2013年度 上期	売上高 比率	2014年度上期 - 2013年度上期	
					増減額	増減率
売上高	73,259	100.0%	65,318	100.0%	+ 7,941	+ 12.2%
営業利益	3,525	4.8%	2,663	4.1%	+ 862	+ 32.4%
経常利益	4,368	6.0%	2,856	4.4%	+ 1,512	+ 52.9%
当期純利益	2,341	3.2%	1,258	1.9%	+ 1,083	+ 86.0%

	2014年度上期	2013年度上期	増減額	増減率
一株あたり当期純利益	112円47銭	62円48銭	+ 49円99銭	+ 80.0%
連結取り込みレート	102.46円/\$	95.73円/\$	+ 6円73銭	(円安) + 7.0%

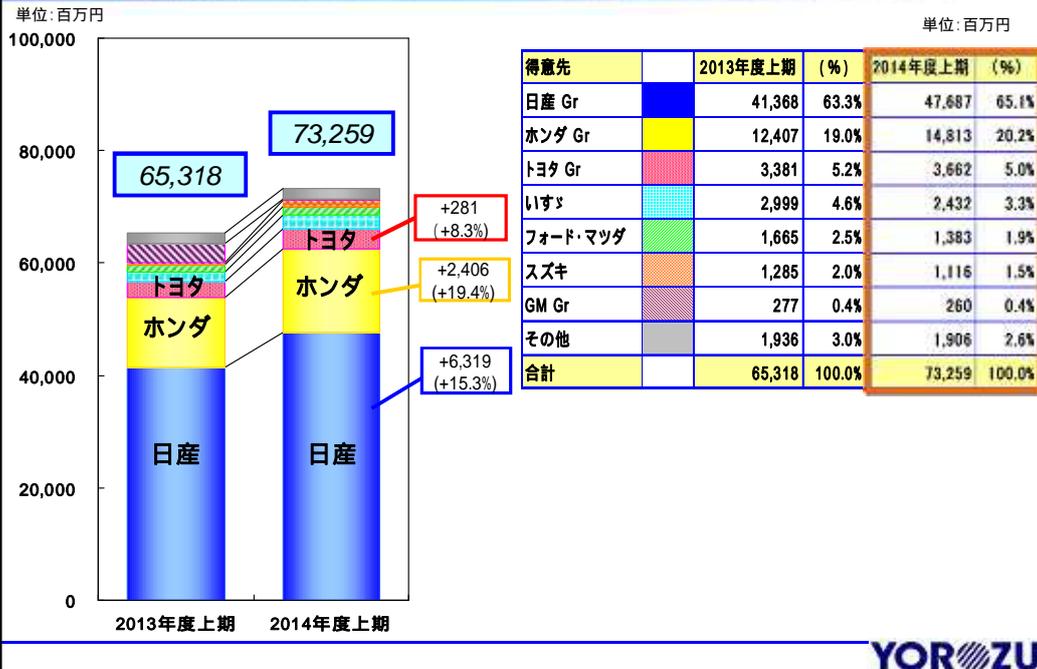
資産の状況(前期末比)

単位:百万円

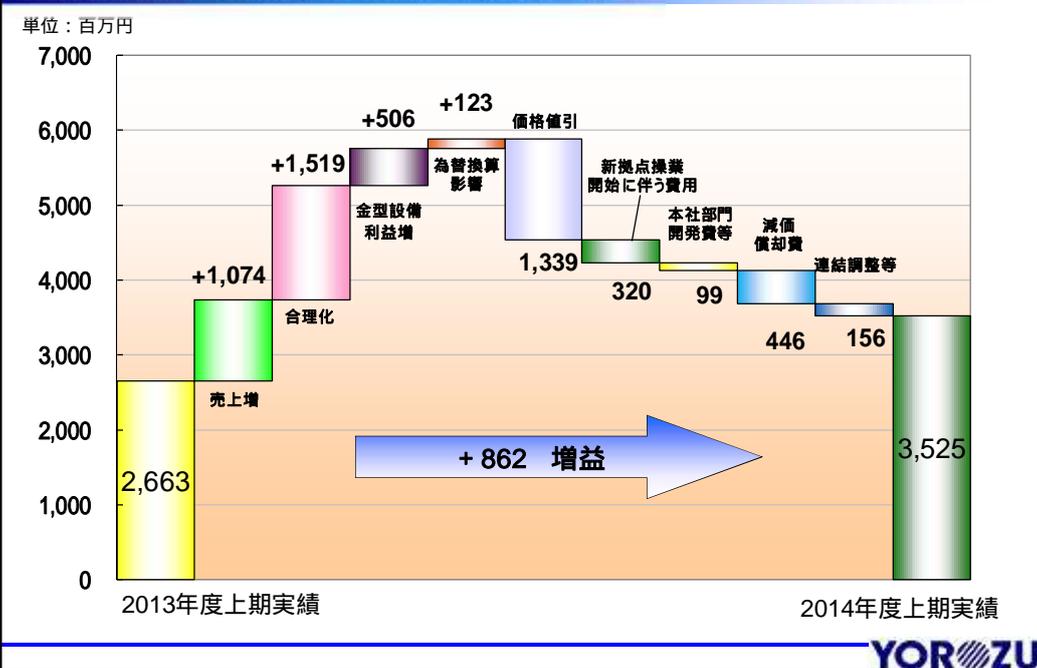
	2014年度 上期末	自己資本 比率	2013年度 期末	自己資本 比率	2014年度上期末 - 2013年度期末	
					増減額	増減率
純資産	85,177	-	77,756	-	+ 7,421	+ 9.5%
(自己資本)	71,359	52.2%	63,857	47.7%	+ 7,502	+ 11.7%
総資産	136,718	-	133,877	-	+ 2,841	+ 2.1%

YORZU

連結得意先別売上高 (2013年度上期実績 対 2014年度上期実績)



連結営業利益の増減要因分析 (前年同期比)



連結経常利益・当期純利益の増減要因 (前年同期比)

単位: 百万円

	2014年度	売上高	2013年度	売上高	2014年度上期 - 2013年度上期	
	上期	比率		上期	比率	増減額
経常利益	4,368	6.0%	2,856	4.4%	+ 1,512	+ 52.9%

主な増減要因

- ・営業利益の増加 + 862百万円 (当期: 3,525百万円 前期: 2,663百万円)
- ・為替差益 + 822百万円 (当期: 994百万円 前期: 172百万円)
- ・子会社開業準備費用の増加 147百万円 (当期: 243百万円 前期: 96百万円)

単位: 百万円

	2014年度	売上高	2013年度	売上高	2014年度上期 - 2013年度上期	
	上期	比率		上期	比率	増減額
当期純利益	2,341	3.2%	1,258	1.9%	+ 1,083	+ 86.0%

主な増減要因

- ・経常利益の増加 + 1,512百万円
- ・特別損失の減少 + 55百万円 特別損失: 固定資産廃棄損の減少他
- ・少数株主利益の減少 + 87百万円 (当期: 170百万円 前期: 257百万円)
- ・法人税等の増加 549百万円

YORZU

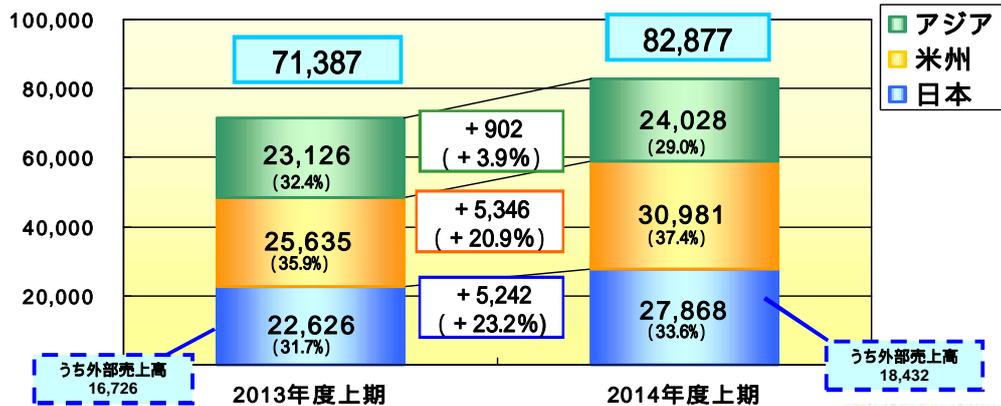
地域別売上高

連結売上高 65,318 → +7,941 (+12.2%) → 73,259

地域別合算値 (連結調整前) 71,387 → +11,490 (+16.1%) → 82,877

単位: 百万円

地域別合算値 (連結調整前)



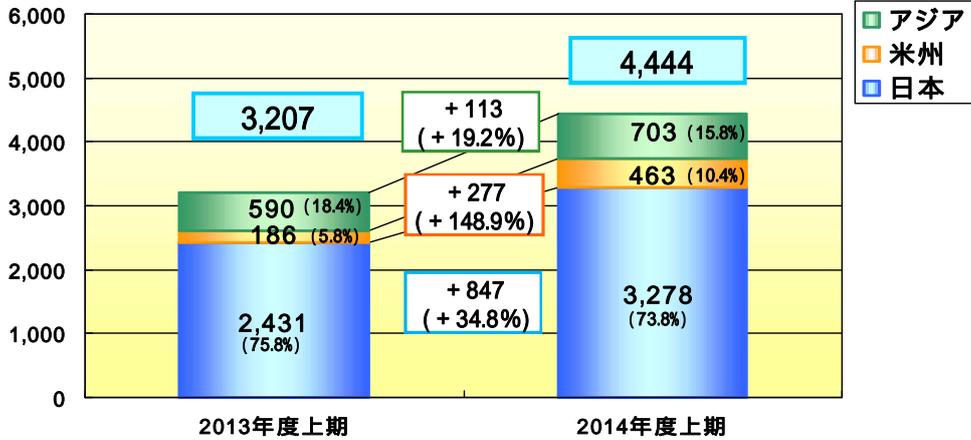
YORZU

地域別営業利益

連結営業利益 **2,663** $+ 862 (+ 32.4\%)$ **3,525**

地域別合算値 (連結調整前) **3,207** $+ 1,237 (+ 38.6\%)$ **4,444**

単位: 百万円



YORUZU

連結貸借対照表 <資産の部>

単位: 百万円

主な増減要因

	(前期末) 2014.3	(当上期末) 2014.9	増減	増減率 (%)
(資産の部)				
I. 流動資産	60,538	60,038	-500	-0.8%
現金及び預金	19,412	19,689	+277	+1.4%
売掛金・受取手形	22,044	21,067	-977	-4.4%
たな卸資産	11,286	11,638	+552	+4.9%
その他	7,820	7,464	-356	-4.6%
貸倒引当金	-24	-20	+4	+16.7%
II. 固定資産	73,339	76,680	+3,341	+4.6%
有形固定資産	61,674	63,823	+2,149	+3.5%
無形固定資産	1,033	1,038	+5	+0.5%
投資その他の資産	10,632	11,819	+1,187	+11.2%
資産合計	133,877	136,718	+2,841	+2.1%

資産の部

連結取込レート (主な海外拠点の期末日レート)

	(13.12月)	(14.06月)
1ドル	前期: 105.39円	当期: 101.36円
1ペソ	前期: 8.07円	当期: 7.81円
1パーツ	前期: 3.20円	当期: 3.12円
1人民元	前期: 17.36円	当期: 16.32円
	(14.03月)	(14.09月)
1ルピー	前期: 1.73円	当期: 1.80円

流動資産

たな卸資産の増加 + 552百万円

売掛金・受取手形の減少 977百万円

固定資産

(有形固定資産)

建物の増加 + 2,637百万円

機械装置及び運搬具の増加 + 656百万円

建設仮勘定の減少 1,063百万円

(投資その他の資産)

投資有価証券の増加 + 1,323百万円

YORUZU

連結貸借対照表 <負債・純資産の部>

単位：百万円

主な増減要因

	(前期末) 2014.3.	(当上期末) 2014.9.	増減	増減率 (%)
(負債の部)				
I. 流動負債	33,371	28,974	△4,397	△13.2%
買掛金・支払手形	15,767	13,793	△1,974	△12.5%
電子記録簿	3,409	3,294	△115	△3.4%
1年内返済予定の長期借入金	2,476	2,041	△435	△17.6%
未払法人税等	2,296	1,690	△606	△26.4%
賞与引当金	982	1,145	+163	+16.6%
その他	8,441	7,011	△1,430	△16.9%
II. 固定負債	22,750	22,566	△184	△0.8%
長期借入金	19,543	19,094	△449	△2.3%
退職給付に係る負債	1,071	1,073	+2	+0.2%
その他	2,136	2,399	+263	+12.3%
負債合計	56,121	51,540	△4,581	△8.2%
(純資産の部)				
I. 株主資本	66,124	75,210	+9,086	+13.7%
II. その他の	△2,267	△3,850	△1,583	△69.8%
III. 包括利益累計額	209	193	△16	△7.7%
IV. 少数株主持分	13,690	13,625	△65	△0.5%
純資産合計	77,756	85,178	+7,422	+9.5%
負債及び純資産合計	133,877	136,718	+2,841	+2.1%

★負債・純資産の部	
○流動負債	
・買掛金・支払手形の減少	△1,974百万円
・未払法人税等の減少	△606百万円
・その他の減少	△1,430百万円
(設備関係未払金・未払金・前受金等)	
○固定負債	
・長期借入金の減少	△449百万円
○純資産の部	
(株主資本)	
・増資による資本金の増加	+2,728百万円
・増資による資本準備金の増加	+2,728百万円
・自己株式の処分による増加	+872百万円
・自己株式の処分による	
その他資本剰余金の増加	+643百万円
(その他の包括利益累計額)	
・為替換算調整勘定の減少	△2,447百万円
・その他有価証券評価差額金の増加	+852百万円

YORZU

目次

・2014年度上期業績

・2014年度通期見通し

・今後の方向性

・株主還元について

YORZU

2014年度 連結決算概要

損益の状況(前期比)

単位:百万円

	2014年度 予想	売上高 比率	2013年度 実績	売上高 比率	2014年度予想 - 2013年度実績	
					増減額	増減率
売上高	147,000	100.0%	138,340	100.0%	+ 8,660	+6.3%
営業利益	6,800	4.6%	8,025	5.8%	△1,225	△15.3%
経常利益	7,800	5.3%	9,425	6.8%	△1,625	△17.2%
当期純利益	4,200	2.9%	5,139	3.7%	△939	△18.3%

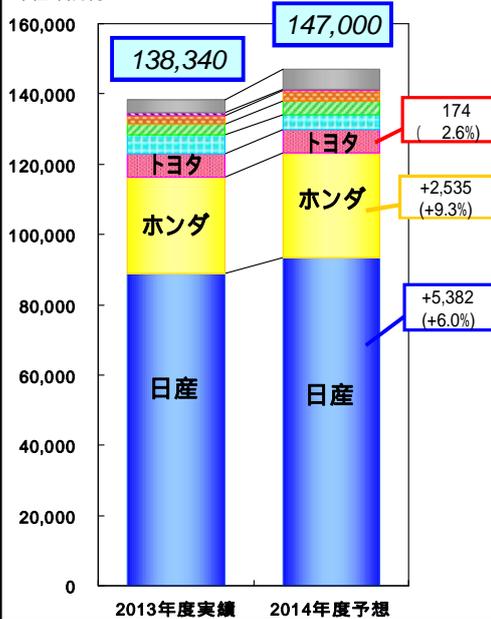
	2014年度予想	2013年度実績	増減額	増減率
一株あたり当期純利益	184円30銭	255円01銭	△70円71銭	△27.7%
連結取り込みレート	100.00円/\$	97.73円/\$	+ 2円27銭	(円安) + 2.3%

YORZU

連結得意先別売上高 (2013年度通期実績 対 2014年度通期予想)

単位:百万円

単位:百万円

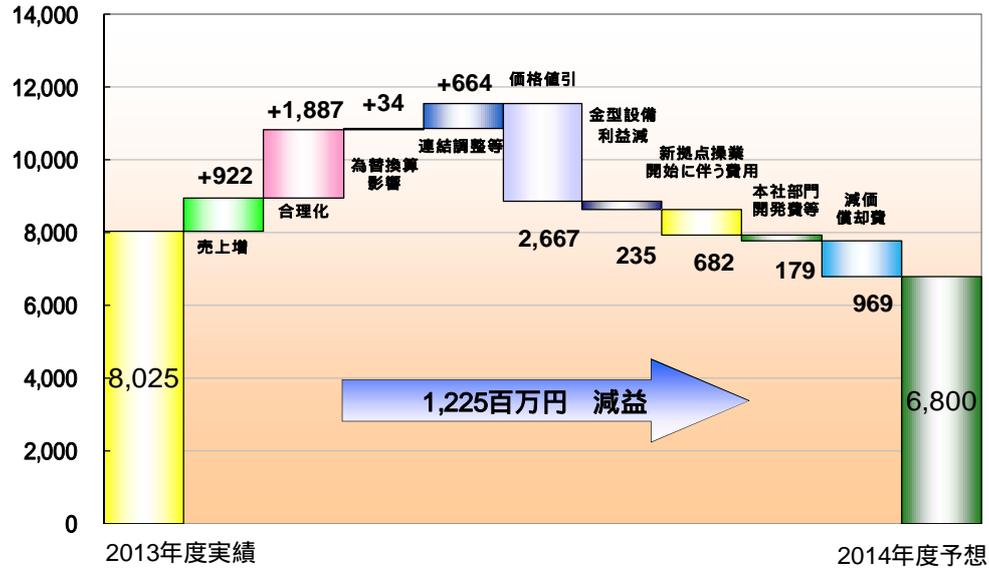


得意先	2013年度通期実績 (%)	2014年度通期予想 (%)
日産 Gr	88,976 64.3%	94,350 64.2%
ホンダ Gr	27,247 19.7%	29,782 20.3%
トヨタ Gr	6,689 4.8%	6,515 4.4%
いすゞ	5,306 3.8%	4,258 2.9%
フォード・マツダ	3,025 2.2%	3,901 2.7%
スズキ	2,567 1.9%	2,945 2.0%
GM Gr	788 0.6%	512 0.3%
その他	3,742 2.7%	4,729 3.2%
合計	138,340 100.0%	147,000 100.0%

YORZU

連結営業利益の増減要因分析 (前期比)

単位：百万円



YORZU

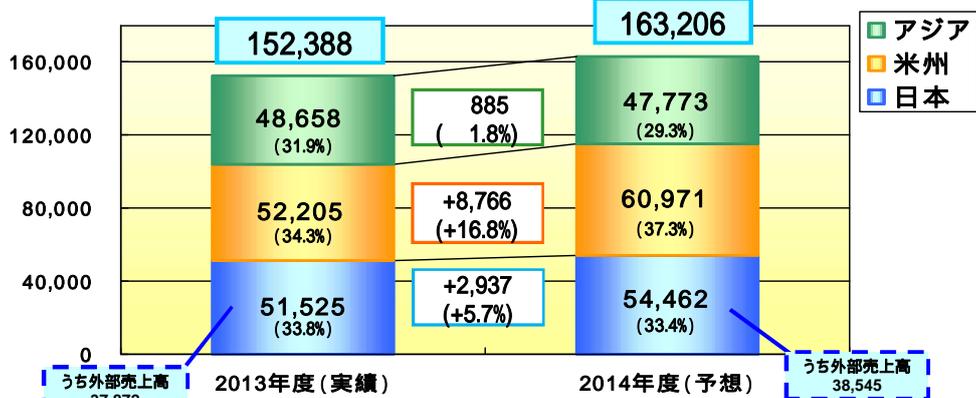
地域別売上高

連結売上高 138,340 → +8,660 (+6.3%) → 147,000

地域別合算値 (連結調整前) 152,388 → +10,818 (+7.1%) → 163,206

地域別合算値 (連結調整前)

単位：百万円



YORZU

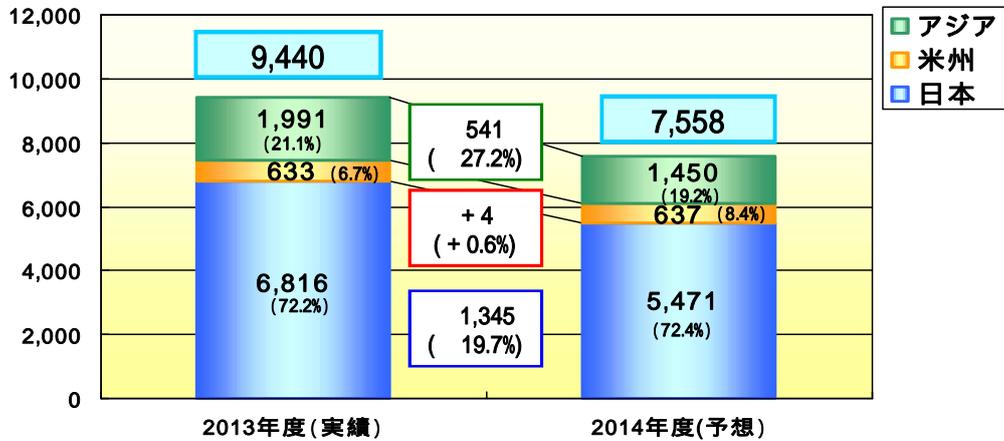
地域別営業利益

連結営業利益 **8,025** → 1,225 (15.3%) → **6,800**

地域別合算値 (連結調整前) **9,440** → 1,882 (19.9%) → **7,558**

単位: 百万円

()カッコ内は、増減比



YORUZU

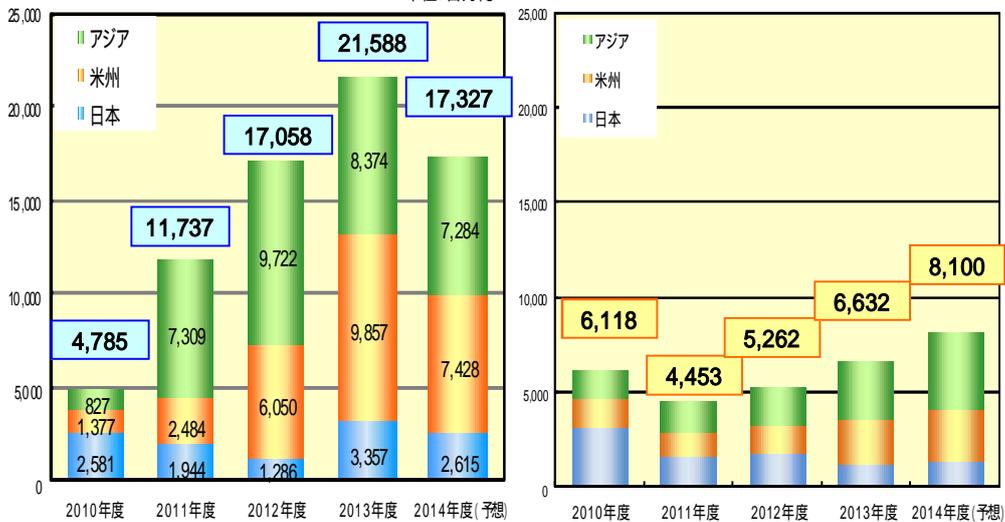
設備投資と減価償却費

設備投資

減価償却費

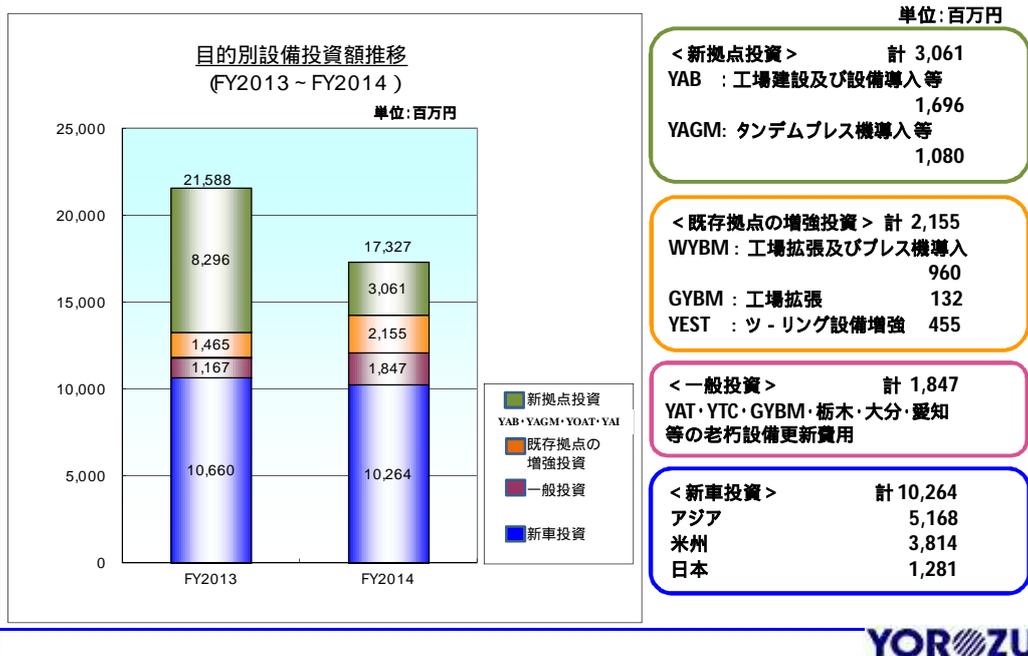
単位: 百万円

単位: 百万円



YORUZU

設備投資



目次

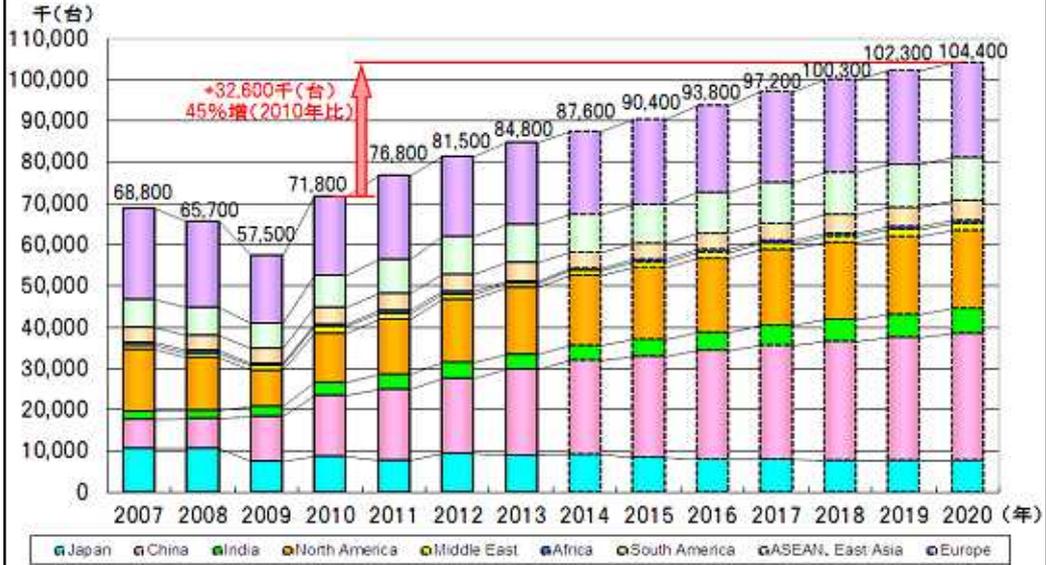
. 2014年度上期業績

. 2014年度通期見通し

. 今後の方向性

. 株主還元について

世界自動車生産動向



自動車産業は、今後も世界経済を牽引する成長産業である。

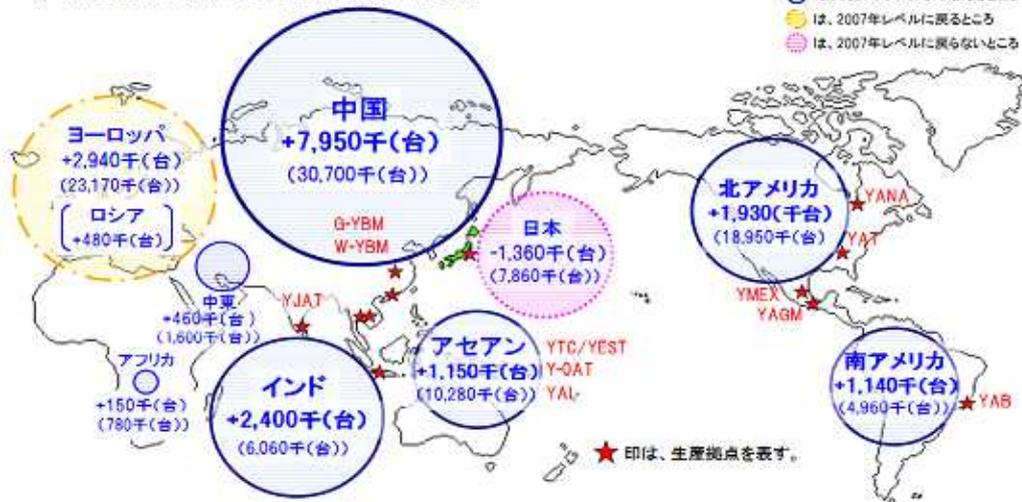
出展 :sm 2014年10月データ乗用車+商用車(トラック、バスは除く)

YORZU

2015～2020年地域別自動車生産動向

2014年生産台数実績予測を基点として、2020年までに16,760千(台)増加すると予測。

()内は、2020年における地域・国別生産台数予測を表す。



中国、インド、アセアン、南米を中心に自動車産業は成長していく

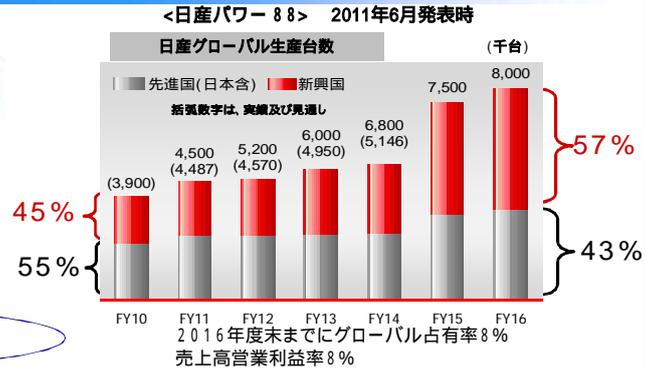
出展 :sm :2014年10月データ乗用車+商用車(トラック、バスは除く)

YORZU

得意先の海外展開への対応

✓ ヨロズの対応

新拠点設立及び拠点追加



- ✓ 2011年10月 中国第2拠点稼働
 - ✓ 2011年11月 インド新拠点稼働
 - ✓ 2013年 6月 タイ第2拠点稼働
 - ✓ 2013年 8月 インドネシア新拠点稼働
 - ✓ 2013年10月 メキシコ第2拠点稼働
 - ✓ 2014年 7月 ブラジル新拠点稼働
- 中国の強化を実施中、ロシア進出については検討中

YORZU

ヨロズの開発戦略

自動車メーカーの部品共通化の動き

新興国向け低価格車への対応



競争力のある製品開発が必須

軽量
高剛性
低コスト

YORZU

開発から生産までの一貫体制

ヨロズグローバルテクニカルセンター (YGTC)



ヨロズ栃木内に
ものづくり部門(開発・生産技術・品質保証・
生産管理・APQP・調達)が全て集結

他社製サスペンション部品
展示エリア



YOROSU

ヨロズの開発戦略

製品開発 <自動車メーカーとの更なる協業>

新規受注部品の製品開発

軽量・高剛性・低コストを目指した

自動車メーカー・社内生産技術部門との徹底的な協業

先行開発領域

新構造開発

構造合理化 部品一体化

板厚低減のための技術開発

新素材

カーボン、アルミ、超ハイツ

YOROSU

軽量化及び原価低減の開発事例

カラーレス・フェイルセーフ軽量サスペンションアーム

軽量化 10%(1660g→1490g) **特許出願中**

低コスト(部品点数の削減) ▲15%



YORZU

軽量化及び原価低減の開発事例

新素材 : カーボン (CFRP) の適用検討

サスペンション部品(トランスバースリンク)へ **先行開発中**

カーボンを適用することで 30%の軽量化が見込まれる。



トランスバースリンク 試作品



試作品製作風景

YORZU

ヨロズの開発戦略

生産工程の開発

新規受注製品の生産設備

標準化された生産設備による世界同一品質の提供

先行開発領域 <設備稼働率の向上 人に優しいラインづくり>

組立設備の汎用化、自動化、内製化

物流の無人化 AGVの内製開発

加工の高速化

他

YORZU

内製開発による自動化

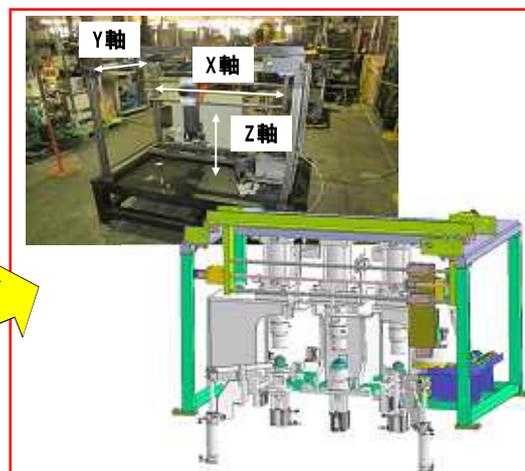
圧入ロボットの内製化

ジェネリックロボット
(3軸簡易ロボット)



3軸のサーボモーターと
制御装置を組み合わせ
3軸ロボットを製作

内製ロボットを活用し、
圧入ラインを自動化



YORZU

内製開発による自動化の事例

部品の無人搬送 (AGV)

工場内の物流形態に合わせた仕様で AGV (無人搬送台車) を製作し、最適な物流及び省人化を図る



YORZU

最近の主な当社製品採用車種

<p>日産</p>  <p>ノート・マーチ</p>	<p>生産拠点</p> <p>日本、タイ、中国、メキシコ、インド</p>  <p>リアビーム他</p>	<p>共通プラットフォーム CMF1車</p>  <p>エクストレイル・ローグ</p>	<p>生産拠点</p> <p>日本、アメリカ、中国</p>  <p>フロントサスペンションメンバー他</p>
<p>ホンダ</p>  <p>N BOX, N BOX+ N-ONE, N-WGN</p>	<p>生産拠点</p> <p>日本</p>  <p>リアビーム他</p>	<p>グローバル共通プラットフォーム車</p>  <p>フィット ヴェゼル</p>	<p>生産拠点</p> <p>日本、中国</p>  <p>フロントサブフレーム他</p>
<p>トヨタ</p>  <p>カローラ・ピオス</p>	<p>生産拠点</p> <p>タイ</p>  <p>ブレーキペダル他</p>	<p>VW</p>  <p>ゴルフ</p>	<p>生産拠点</p> <p>メキシコ</p>  <p>サスペンションリンク</p>

YORZU

最近の新規拡販状況

日産

車種: GO, GO+
 受注部品: フロントメンバー、トランスバースリンク、リアビーム
 納入先: インド、インドネシア
 生産拠点: YJAT (インド) ~ 立上り: 2014年1月
 YAI (インドネシア) ~ 立上り: 2014年4月



ダットサンGO



ダットサンGO+

日産

車種: ナバラ
 受注部品: フロントロアリンク、アッパーリンク、リアリンク、
 ブレーキ、クラッチペダル
 納入先: タイ
 生産拠点: YTC (タイ) ~ 立上り: 2014年7月



ナバラ



YORZU

最近の新規拡販状況

ホンダ

車種: ヴェゼル
 受注部品: フロントサブフレーム、ロアアーム、リアビーム
 納入先: メキシコ、中国、タイ、インドネシア
 生産拠点:
 G-YBM (中国 広州) ~ 立上り: 2014年10月
 YTC (タイ) ~ 立上り: 2014年11月
 YAI (インドネシア) ~ 立上り: 2014年12月
 YAGM (メキシコ) ~ 立上り: 2015年1月



ヴェゼル

マツダ

車種: デミオ
 受注部品: フロントメンバー、リアトーションビーム
 納入先: タイ (ラヨン県)
 生産拠点: YTC (タイ)
 ~ 立上り: 2014年10月



デミオ
(MAZDA-2)

YORZU

最近の新規拡販状況

スズキ

車種: セリオ
 受注部品: 車体部品、フロントロアアーム
 納入先: タイ(ラヨン県)
 生産拠点: YTC (タイ)
 ~ 立上り: 2014年5月



セリオ

ダイハツ

車種: ハイゼット ジャンボ
 受注部品: ピラーインナー
 納入先: ダイハツ九州
 生産拠点: ヨロズ大分
 ~ 立上り: 2014年9月



PILLAR INNER



ハイゼット ジャンボ

YORZU

最近の主な得意先からの表彰受賞

日産グループ

日産車よりグローバル及び
リージョナル品質賞を受賞



グローバル 品質賞
 ヨロズ 日本地域 品質賞
 G-YBM 中国地域 品質改善賞

2年連続

北米日産車より
品質賞を受賞



YAT 北米地域 品質賞
 YMEX 北米地域 品質賞
 5年連続

日産車体車より
品質貢献賞を受賞



ヨロズ

ホンダ

メキシコホンダ車より
エクセレント賞(QCD)を受賞



YMEX

トヨタグループ

米国日野車より
品質賞を受賞



YAT
 3年連続

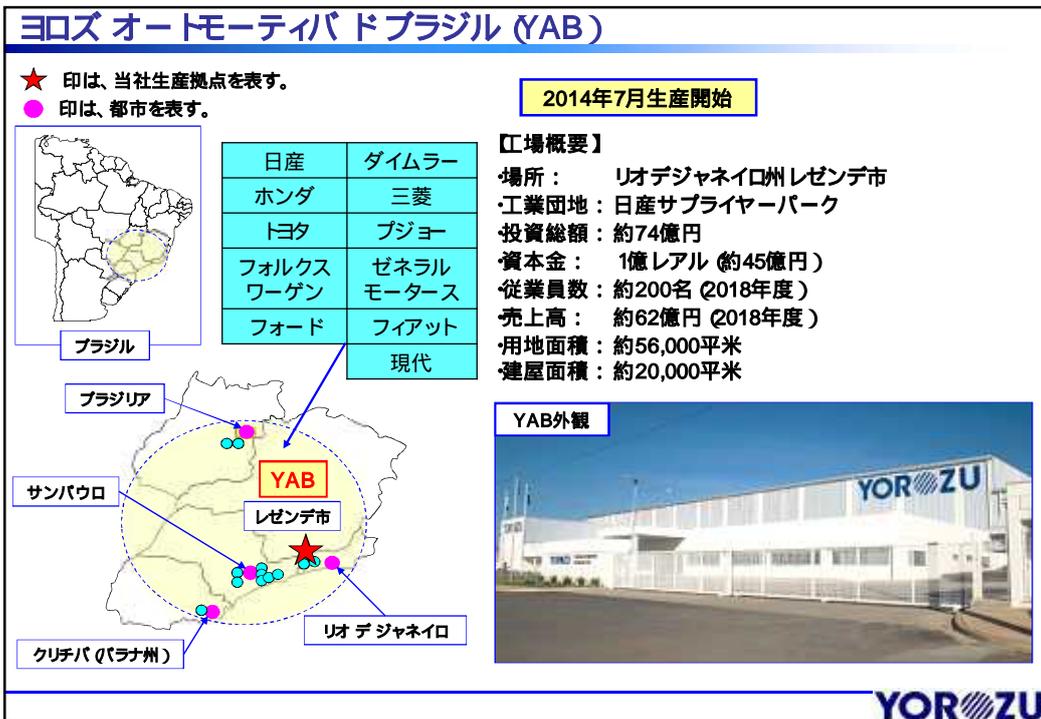
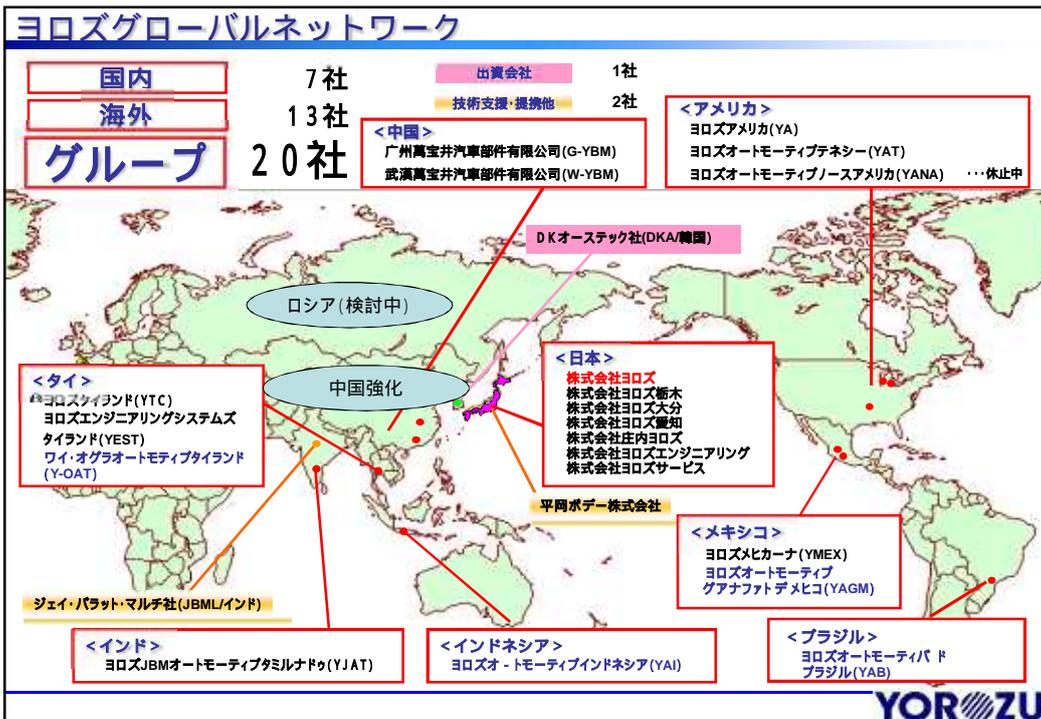
いすゞ

いすゞ車より
品質達成賞を受賞



ヨロズ

YORZU



目次

- . 2014年度上期業績
- . 2014年度通期見通し
- . 今後の方向性

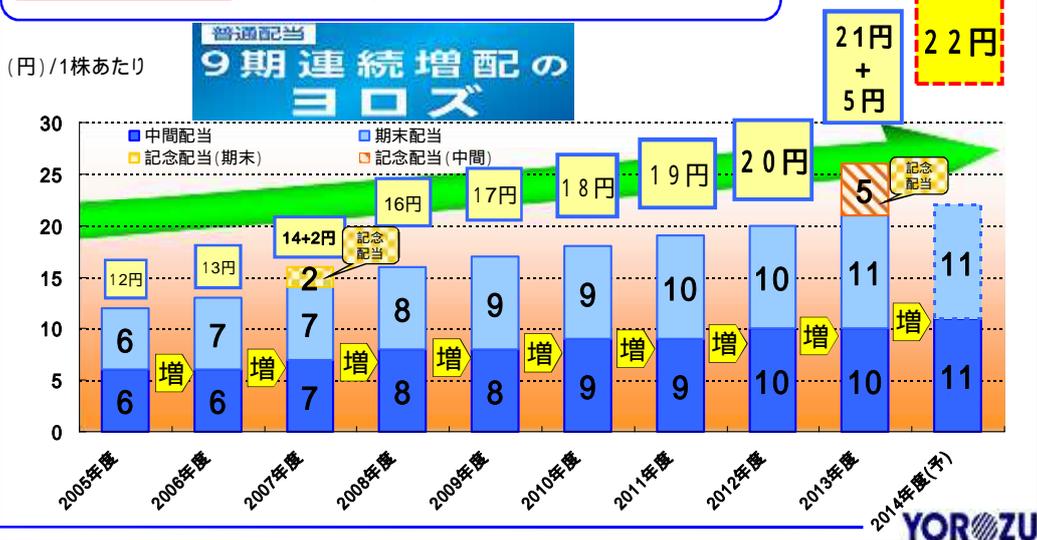
株主還元について

YORZU

配当金の推移

基本方針

事業年度ごとの利益の状況、将来の事業展開などを勘案しつつ、安定した配当を維持するとともに、株主の皆様のご期待にお応えする為に、**増配を常に念頭におき**事業の発展に努める



2014年度 YOR●ZU 上期決算説明会

ご清聴ありがとうございました

ヨロズ ホームページアドレス

<http://www.yorozu-corp.co.jp>

2014年度 上期決算説明会

附属資料

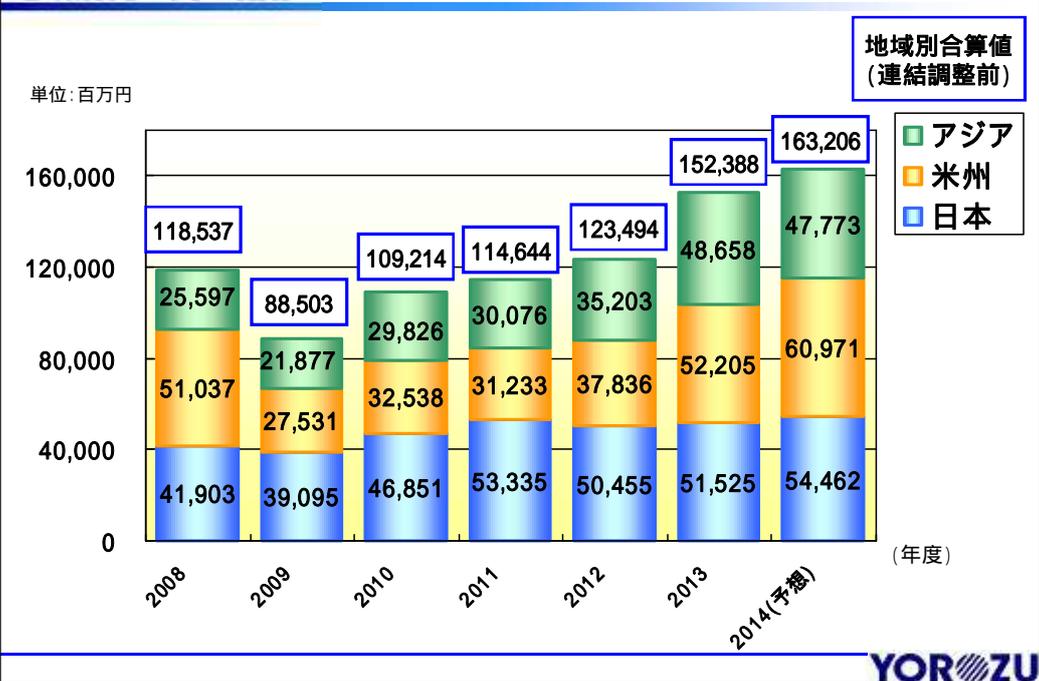
YOR●ZU

グループ各社の概要（2014年9月末現在）

▲生産拠点 ●金型・設備製作 ○開発拠点他 9月末人員は、臨時社員を含んでおります

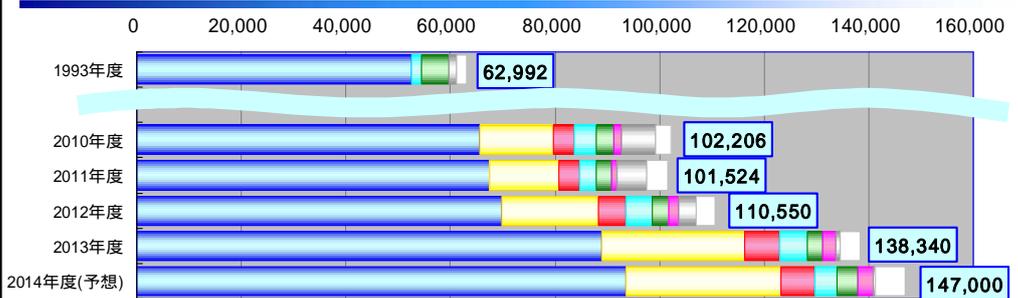
地域	名称	ヨロズ出資	9月末人員	2014年9月期個別売上高
日本 Gr.	○ヨロズ	-	440名	27,274百万円
	●ヨロズ栃木	100%	241名	5,148百万円
	●ヨロズ大分	100%	366名	6,892百万円
	●ヨロズ愛知	100%	138名	1,972百万円
	●庄内ヨロズ	77% , (YS) 5%	215名	1,894百万円
	●ヨロズエンジニアリング	100%	158名	3,000百万円
	○ヨロズサービス	100%	30名	132百万円
北米 Gr.	○ヨロズアメリカ	100%	27名	255百万円
	●ヨロズオートモーティブテネシー	(YA) 85%	1,969名	23,289百万円
	●ヨロズオートモーティブノースアメリカ	(YA) 100%	-	0百万円
	●ヨロズメヒカーナ	89%	560名	6,480百万円
	●ヨロズオートモーティブグアナファトメヒコ	85% , (YMEX) 5%	298名	1,694百万円
	●ヨロズオートモーティブブラジル	70%	81名	11百万円
アジア Gr.	●ヨロズタイランド	90%	968名	6,875百万円
	●ワイ・オグラオートモーティブタイランド	81% , (YTC) 8%	182名	768百万円
	●ヨロズエンジニアリングシステムズタイランド	(YTC) 58% (YE) 42%	140名	904百万円
	●広州萬宝井汽車部件	51%	489名	7,912百万円
	●武漢萬宝井汽車部件	51%	522名	6,347百万円
	●ヨロズ JBMオートモーティブタイランドリミテッド	93%	208名	1,158百万円
●ヨロズオートモーティブインドネシア	95%	222名	1,842百万円	
グループ単純合算		-	7,254名	103,848百万円

地域別売上高の推移



連結得意先別売上高

単位: 百万円

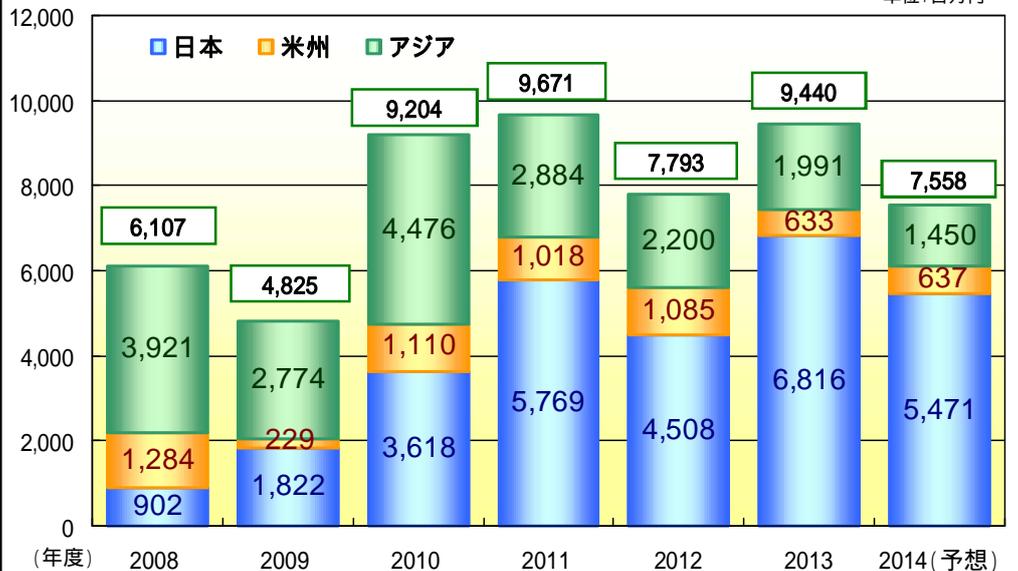


得意先 / 年度	1993	(%)	2010	(%)	2011	(%)	2012	(%)	2013	(%)	2014(予想)	(%)
日産・G	52,585	83.5	65,551	64.1	67,590	66.6	69,782	63.1	88,976	64.3	94,358	64.2
ホンダ	0	0	14,083	13.8	13,156	13.0	18,435	16.7	27,247	19.7	29,782	20.3
トヨタ・G	0	0	4,034	3.9	3,895	3.8	5,350	4.8	6,689	4.8	6,515	4.4
いすゞ	1,889	3.0	4,301	4.2	3,176	3.1	4,988	4.5	5,306	3.8	4,258	2.9
フォード・マツダ	5,138	8.2	3,365	3.3	2,961	2.9	3,170	2.9	3,025	2.2	3,901	2.7
スズキ	0	0	1,348	1.3	1,188	1.2	1,991	1.8	2,567	1.9	2,945	2.0
GM	1,534	2.4	6,473	6.3	5,667	5.6	3,262	3.0	788	0.6	512	0.3
その他	1,846	2.9	3,051	3.0	3,891	3.7	3,572	3.2	3,742	2.7	4,729	3.2
合計	62,992	100.0	102,206	100.0	101,524	100.0	110,550	100.0	138,340	100.0	147,000	100.0

地域別営業利益の推移

地域別合算値 (連結調整前)

単位: 百万円



YORZU

各自動車メーカーとの取引状況

得意先名	主な採用部品 (主な搭載車種)	供給国
日産自動車	フロントサスペンションメンバー: フェアレディZ・スカイライン・セントラ・アルティマ・GTR・ムラーノ・ティアナ・エクストレイル・ローグ・マーチ・ジューク・リーフ・インフィニティーJX・GO・GO+ 等 リアビーム: シルフィ・ウィングロード・セレナ・ティーダ・ノート・マーチ・キューブ・セントラ・パサー・ジューク・リーフ・GO・GO+ 等 リアサスペンションメンバー: アルマーダ・アルティマ・GTR・ティアナ・エクストレイル・ローグ・インフィニティーJX等	日本・アメリカ・メキシコ・タイ・中国・インド・インドネシア
本田技研工業	フロントサブフレーム: ステップワゴン・アコード・フィット・ヴェゼル アーム類: アコード・ストリーム・CRV・ライフ・NBOX・N-ONE・N-WGN・フィット・ヴェゼル・MD-X リアビーム: ライフ・NBOX・N-ONE・N-WGN・フィット・ヴェゼル ペダル: アクティ・パモス リアサブフレーム: USオデッセイ	日本・アメリカ・メキシコ・中国・タイ・インドネシア・ブラジル
いすゞ自動車	サスペンションアーム: D-MAX ブラケット類: エルフ等 リンクアームキャブサスペンション: ギガ	タイ 日本
トヨタ自動車	アーム・リンク類: カローラ・イノバ・フォーチュナー・カムリ オイルパン: カムリ ブレーキ&クラッチペダル: ヤリス・カローラ リアアンダーフロア: ラクティス・ウェルキャブ (トヨタ自動車東日本) フレーム部品: イノバ	タイ・アメリカ 中国・日本・インド
マツダ	アーム類: CX-5・アテンザ ブラケット類: B T50 (1トンピックアップ) リアビーム、クロスメンバー、バンパービーム: Mazda2 (デミオ) ダストカバー、エンジンブラケット: Mazda3 (アクセラ)	タイ 日本 メキシコ

アンダーラインは、新規採用車種を示す

YORUZU

各自動車メーカーとの取引状況

得意先名	主な採用部品 (主な搭載車種)	供給国
富士重工業	ブラケット類: レガシー、フォレスター デフメンバー: レガシー	日本・アメリカ
UDトラックス	ブラケット類: アトラス	日本
スズキ	フロントサスペンションメンバー: ソリオ・APV (ミニバン) フロントロアアーム: セレリオ 車体部品 : スイフト・エルティガ リアビーム: スイフト・スブラッシュ	日本・タイ インドネシア 中国・インド
ダイハツ工業	フロントサスペンションメンバー等: ハイゼット・アトレーワゴン パネルクォーターインナー: ミラ リアビーム: ミライース	日本
日野自動車	ブレーキペダル: デュトロ フレーム部品: ハイラックスビーゴ・フォーチュナー (トヨタ自動車)	日本 タイ
フォルクスワーゲン	スブラッシュガード, オイルパン: ジェッタ・ビートル リンク類: ゴルフ	メキシコ・アメリカ
GM (ゼネラルモーターズ)	フロントクレードル: ホールデン コモドア (豪州) リンク類 : トレイルブレイザー	豪州 タイ・ブラジル
フォード	ブラケット類: レンジャー リアバンパービーム: フォーカス	タイ
ルノー	フロントサスペンションメンバー: ダスター リアビーム: ダスター	インド

アンダーラインは、新規採用車種を示す

YORUZU

免責事項と著作権について

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さいますようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

お問合せ

責任者： (株)ヨロズ 取締役専務執行役員 財務部長 佐草 彰
担当： (株)ヨロズ 財務部 小澤 学

T E L 045-543-6802 F A X 045-543-4915

YORUZU

写真撮影に関するお願い

本日は、ご多忙のところ
弊社2014年度上期決算説明会に
ご出席いただきまして有難うございます。

ご出席の方々をお願い申し上げます。
本日の説明会の様子を撮影させていただきます。
これは、社内報等の社内資料及びIR活動レポートとして
当社ホームページへ掲載させていただく為です。

写真の取扱いに関しては、『個人情報保護法』に基づき
十分に注意いたしますのでご了承の程お願い致します。

YORUZU